



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(一財)日本友愛協会

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文天ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@yuaiyoukai.com

http://yuaiyoukai.com

発行人：川手正一郎
編集人：

隔月1回 10日発行

年会費
2,000円

第二十六回 日本ドイツ歌曲コンクール

本選会出演者決定

日本友愛協会主催の最後の本選会 今後へ向けて新しい名称に

十月二十九日(木)東京の文京シビック小ホールにおいて、第二十六回日本ドイツ歌曲コンクール(前友愛ドイツ歌曲コンクール)の二次予選が開催され、学生一名、一般十名の計十一名が、十二月九日(水)に、文京シビック小ホールで開催される本選会へと駒を進めた。本コンクールは、今回から「日本ドイツ歌曲コンクール」と名称を改め、志を同じくする一般財団法人ドイツ歌曲普及協会との共同で開催される。今回の日本ドイツ歌曲コンクールは、日本友愛協会が主催して開催する最後のコンクールとなることから、当日は会場にて成績発表・表彰式に続き、本コンクールの開催、継続に尽力された方々への感謝状贈呈式が予定されている。

十月二〇日(火)に、文

京シビック小ホールに於いて第一次予選が開催され、学生五名、一般四十一名が出演した。(当日一般欠席一名)

厳選なる審査の結果、学生三名、一般二十一名が二次予選に進んだ。

今回の出演者は総体的に水準が高く、審査員の先生方を悩ませた。特に、学生の出演者は、更に磨きをかければ、立派な歌い手になれる可能性を秘めており、未来に期待が持てると先生方を喜ばせた。

十月二十九日(木)に開催された二次予選では、更に審査員の先生方を悩ませる結果となり、協議の末、一般の出演者を例年より一名増やし十名とした。学生

名となった。

本選会に出演する皆さんを写真と共にご紹介しま

す。(番号は出演順)

文京シビック小ホールで十二月九日(水)に開催される本選会、日本友愛協会が主体で開催する最後の本選会となる。音楽文化の理解を深め、ドイツ歌曲を学ぶ音楽家の育成を目指し、四半世紀に亘り続けて来た本コンクール事業であるが、今回を以て志を同じくする一般財団法人ドイツ歌曲普及協会へ、その役割を継承することとなった。

今後に継続させていくため今回から「日本ドイツ歌曲コンクール」と名称を改め、以前のコンクールとの継続性を示すため、第三〇回まで「前友愛ドイツ歌曲コンクール」を併記するこ

ととしている。

友愛ドイツ歌曲コンクールの入賞者が、自身の経歴に本コンクールの成績を載せ活躍している状況も増えている現在、歴史と名譽の途切れることの無いよう、今後の開催は、ドイツ歌曲普及協会との間で約束されている。

【学生の部】

1 山本 将生

(やまもと まさみ)

武蔵野音楽大学音楽学部音楽学科四年在学中



【一般の部】

2 佐藤 瞳

(さとう ひとみ)

ソプラノ
東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程一年在学中



3 小野 綾香

(おの あやか)

メゾソプラノ
東京藝術大学大学院音楽博士後期課程独唱専攻四年在学中



6 白岩 洵

(しらいわ じゅん)

バリトン
東京藝術大学大学院修了



9 宮下 大器

(みやした たいき)

テノール
東京藝術大学大学院修士課程三年在学中



4 深瀬 廉

(ふかせ れん)

バリトン
東京藝術大学大学院修士五年在学中



7 杉原 藍

(すぎはら あい)

ソプラノ
東京藝術大学大学院修士課程独唱専攻修了



5 細井 暁子

(ほそい あきこ)

メゾソプラノ
国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻歌曲修了



8 小原 裕之

(おはら ひろゆき)

バリトン
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了



11 古澤 淳

(よしざわ まこと)

ソプラノ
東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程独唱科在学中



*本選会チケット(一般二千元/学生千円)は、当日会場でお求めいただけます。
*事前にチケットが必要な方は、日本友愛協会事務局までお申し込みください。
*会場の文京シビック・小ホールは、地下鉄でのご来場が便利です。

友愛時評

▼大学間交流の仕事で米国出張に来ている。この地を訪れる度にいつも頭を悩ませるのがチップである。この習慣は元々は移民の母国であるヨーロッパから持ち込まれたのだろうが、米国では既に独特のものに変貌している。▼最近の相場では、レストランで食事をした際には二〇%が最低限だという。ヨーロッパ諸国では五〜一〇%ぐらいのところが多いと思うのだが、と米国滞在歴の長い同僚に聞いたところ、二〇%を置かないと「何か自分のサービスに問題があったのか」と血相を変えてくることもあるという。レストランの他にも、ホテルやタクシーの移動でチップを要する場面は多く、1ドル紙幣を束にしてポケットに忍ばせることになる。▼ふと、ホテルの「枕銭」を紙幣でどう置くのかわからず、と疑問を持った。一般的かと思っていたのだが、紙幣では違和感がある。いろいろと調べてみると、「枕銭」は日本人が外国旅行で慣行化させたもので、米国人は対面でサービスを受けないメイトさんにはチップを置かないという。ピロー・チップというのも和製英語だというのが、この習慣は韓国人や中国人にも広がっているらしい。▼世界の国々を見回すとチップの習慣があるのは少数派でほとんどが欧米諸国だが、実はヨーロッパ諸国の間でもチップの習慣は相当に異なる。筆者が留学していたドイツは「サービス」にあたる単語が存在しないと揶揄される国で、飲み屋での勘定以外のチップは外国から持ち込まれた習慣である。他国の文化や風習を正確に知ることは難しいものだ、と思いつながら、とりあえずケチな筆者は「枕銭」をやめることとした。(ヒゲ)

国際交流事業

北京理工大学における「友愛」講演会開催

日本語学科の学生を中心に多くの学生が参加
日本側大学生による講演も好評

鳩山由紀夫理事長のビデオレターに歓声

友愛のもとで「百年樹人」を

北京理工大学外国語学院日本語文学科長
北京理工大学大学院日本語文学専攻長

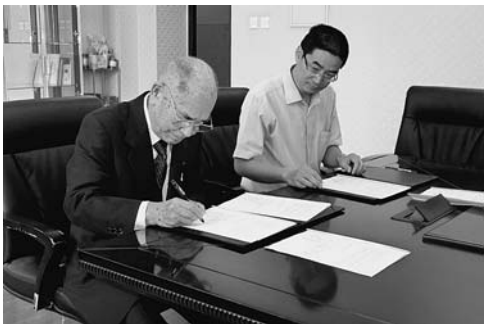
周 晨亮

九月二十一日、二十二日の二日間に亘って、日本友愛協会国際交流事業の一環として、北京理工大学に於いて「友愛講演会」が開催された。海外に於いての「友愛講演」は、本協会にとっても新たな歴史が刻まれたこととなる。

「袖振り合うも他生の縁」。二〇一四年の仲春、理工大のOBである羊強振さん（中国国際青年交流センター）の紹介で、北京理工大学で学生交流を終えた、日本友愛協会のご一行（羽中田さん、川手祥右君、高橋佳大君）にご挨拶をする機会に巡り会えました。

昼食後一行は忽々に空港へ立ち、私も急いで講演に向かいました。袖振り合う

北京理工大学校舎「徳以明理 学以精工」大学の理念が掲げられている。全校で三万人の学生が学ぶ。



李京廉学院長（右）と奨学金の契約書に調印。三年間に亘り、友愛講演会の感想文を基に提供する。



川手常務理事の話に、熱心に質問する学生が多い。学ぶ姿勢は真摯で素晴らしい学生たちだ。



自身が設計した建物の解説から日本建築の特徴まで、見事にデータを纏めて発表。川手祥右さん。



日本の就職活動事情を軸に、大学生の実態を明るく発表。日本に誘うデータも添えて。高橋佳大さん。



仮に作った茶室「無境庵」で。積極的に挑戦する学生が多い。お茶もお菓子も大好評であった。



参加の学生から贈呈された花束を手し、川手常務理事を囲んで記念撮影。左端は、周教授

ように熱気が教室全体を包んだ情景は嘗てありませんでした。

生の直筆揮毫も、北京理工大学の宝として後世へ大事に伝えていきます。友愛の種は確実に撒かれました。

たびのご訪問によって、若者を未来の日本を担える人間として育てていく驚嘆すべき友愛協会の「樹人」の力にも気づきました。

「人生最高の日」と川手理事が朗らかに宣言されましたが、待っていた私自身も、友愛の真意を一身に体現し得る方との忘年の縁に、思わず感謝を捧げておりました。

二十二日の午後、川手君と高橋君による発表は実に見事でした。PPTの作りが非常に丁寧でかつレイアウトも完璧で、弊学の学生も見習わねばならないものだと感じました。

今後、還暦を過ぎた友愛協会と共に「百年」を期に、北京理工大学外国語学院は世界の国々に貢献できる人材を育成していく所存ですが、ぜひご協力頂けることを切に願ひながら、協会の方々との再会を一日千秋の思いで待ち望んでおります。

二十一日、二十二日二日連続で、川手常務理事がご講演された際通訳として勤めました。言葉の伝達は出来ても、その熱意をどうしても上手く伝えられず慙愧に耐えませんでした。

六〇年以上友愛協会と共に歩んできた川手常務理事の、余人に真似できない本物の氣迫と情熱が満ち溢れ、その言葉は終始若い学生たちの心を掴んで離しませんでした。

過去多くの方々を理工大で迎えたが、あの日の

サインを交わし、学院の歴史にこの記念すべきページを刻むことが出来ました。

本格的な茶道具の数々を理工大まで運んでくださることなど、並大抵の間でありませんが、客人を思ふ真心こそ茶道の神髄なのでしょう。羽中田さんの凛とした茶人の姿、温かい友愛の情がもたらした

中国には「十年樹木、百年樹人」十年かけて木を育て、百年かけて人材を育てる」という諺があります。実際、川手常務理事と友愛協会の方々の手によって、十年も経たずに中国の荒野が森林に変えられた奇跡を写真で拝見し、賛嘆の念を禁じえません。この

鳩山理事長の映像が教室に映った瞬間、四辺が歓声に包まれました。その場にいた学生全員にとって一生の思い出になったのに違ひありません。

有難く頂いた鳩山一郎先生

友愛奨学金設立の契約書に

友愛の輪

北京理工大学日本語学科教授 郭玉傑

北京の一番きれいなシーズンであり、北京理工大学創立七十五周年というめでたい日でもある九月二十一日に、我々は日本友愛協会常務理事川手正一郎様ご一行を理工大中関村キャンパスにお迎えすることができました。

この度の友愛訪中団は川手様始め、事務局員羽中田元美女史と、二人のバイタリティあふれる若者も一緒に来てくださいました。私は以前より川手さん、羽中田さんに関する様々な話を、中日青年交流センターの羊強振君から彼自身の感動も含めて伺っていました。

川手さんが癌にかかって余命一年と宣告されたにもかかわらず、一年後に癌が奇跡的に完治したこと。その情熱と信念の迫力。茶道と生花に精通するだけでなく日本文学や歴史も熟知していて「才気あふれた明る

も学生たちの心を惹き、床に座っていた人たちが脚の痺れを忘れてしまうほど集中して講演を聴きました。茶道具を鑑賞しながら羽中田さんの心を込めて点てたお茶を飲むことは、学生たちにとって本当に珍しい体験であり、一期一会という茶道の精神に対する理解を深める事もできました。

お二人の若者が図表や写真などを駆使して、高橋佳大さんは日本における就活体験を、川手祥右さんは、ご自分が設計した作品を同じ年齢の学生たちと分かち合いました。

今回担当したスタッフとしてもう一つ深い感銘を覚えたことがあります。それは友愛の皆様の仕事に対する真面目さと勤勉さです。ご来訪の一ヶ月前に羽中田さんはすでに講演当日に使う文字資料を送っておい

てくださいました。また今回の講演のために、四人の方が日本から十二箱もある資料と茶道具を持ってきて、講演前日に講演現場まで運んできてくれました。中には川手さんの書かれた『友愛雑感』そして同じく川手さんの書かれた『友愛理解のために』が、ぎっしり入っていました。特に『友愛理解のために』は中国語に訳されており、心配に感動しました。二十一日講演当日、午前中川手さんのご講演終了後、午後の茶道実演の準備をするために、羽中田さんと二人の若者が、食事もせずすぐに午後の茶道実演の教室に駆け付け、準備を始めました。準備を一時間半も続けました。

その中で一番感銘を受けたのは、鳩山由紀夫理事長が学生たちのためにわざわざ作っておい

今回は北京理工大学をご訪問なさることができませんでしたが、理事長が今回の茶事のお客さんとして、ビデオの中でご挨拶をしてくださいました。理事長の笑顔と穏やかな声がすぐに学

生たちとの距離を無くし、元総理大臣とは思えないほど親しみを感じました。理事長の友情あふれるご挨拶で、熱烈的拍手が教室を沸かせました。理事長、学生たちの拍手、聞こえま

したでしょうか。理事長は、近いうちにぜひ北京理工大学を訪問したいと仰いましたが、その日が一日も早く来ることを心より切に願ってやみません。

熱くなりました。贈呈式で鳩山理事長は以下のように挨拶をされました。「この式典の関係各位の皆様

ベトナムへの車いす贈呈プロジェクト

贈呈式開催 鳩山由紀夫理事長参列

次年度へ向けて「修理技術者育成プロジェクト」検討

多くの方から喜びの声 子供たちの表情に感激

一昨年、日本友愛協会鳩山由紀夫理事長が、ベトナム・ハノイ市にある、ベトナム戦争時の米軍による枯葉剤・ダイオキシンの影響により、いまだ重い先天的障害をもつ子供たちを治療する「ブックラム国際総合病院」を視察しました。その際、社会生活を送るための車いす贈呈をその場で申し出、昨年九月にその贈呈式が同医院で行われました

が(機関紙友愛五三〇、五三二号で既報)、本年もまた、二度目となる車椅子贈呈式が九月二十四日に、ベトナム・フンエン省エコーパークで行われました。

昨年の贈呈式がテレビ等にも取り上げられ、関係機関の中で評判になり、今回贈った五〇台の車いすは「枯葉剤患者救済プロジェクト」の一環として、ハノイ市、ダナン市、ドンナイ省

(南部)、バグザン省(北部)、ゲイアン省(中部)、ザライ省(中部)、クアンチ省(中部)各地の関係機関に寄贈されました。

贈呈式には障がいを持つ子供たちとその保護者はもちろん、障害のある退役軍人や関係者が大勢集まり、昨年同様、歌や踊り、詩吟の朗読等や政府関係機関責任者の熱い思いがこもったスピーチの歓迎を受けまし

た。中でも、自身が障がい者でありながら、障がい者のための事業を展開し、実業家としても有名な、歌手グエン・ティ・トゥオンさんの明るく力強い歌声には列席した人々が大いに感動しました。

また、鳩山理事長が車いすに乗る子供達と、一人ひとり手を取りながら触れ合う場面には、国境を超えた正に「友愛の実践」と胸が

壇上に並べられた車椅子。贈られた子どもたちもその親御さんも、関係者も、全員が笑顔に溢れて

贈呈した五〇台の車椅子の内の一台。日本友愛協会の名とロゴ、英文の解説が入っている

贈呈した五〇台の車椅子の内の一台。日本友愛協会の名とロゴ、英文の解説が入っている



自分達の講演を伝えるポスターの前でちょっと照れながら。高橋佳大さん(右)と川手祥右さん(左)



講演後、質問攻めに会う川手常務理事。女子学生は「日本に行きたい」の希望が多い



車椅子贈呈式で挨拶する鳩山由紀夫理事長。多くのメディアが集まり、期待の大きさを伺わせる



歌手のグエン・ティ・トゥオンさんと手を握りながら話を。彼女の歌声に多くの人が感動した



車椅子の子どもたちと、かがんで話をする鳩山由紀夫理事長。活動範囲が増え、社会生活向上を願う



壇上に並べられた車椅子。贈られた子どもたちもその親御さんも、関係者も、全員が笑顔に溢れて



贈呈した五〇台の車椅子の内の一台。日本友愛協会の名とロゴ、英文の解説が入っている

